CASBEE_Sapporo2014v1.2
公営住宅（東雁来団地3号棟）

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル:　CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト:　CASBEE札幌2014（ver.1.3）

スコアシート　　実施設計段階　　重点評価項目　■A:省エネルギー　■B:省資源　■C:緑化　■D:雪処理

配慮項目	重点評価項目 A	B	C	D	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分 評価点	建物全体・共用部分 重み係数	住居・宿泊部分 評価点	住居・宿泊部分 重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										**3.2**
Q1 室内環境							**0.40**		-	**3.2**
1 音環境						**3.0**	0.15	**3.0**	1.00	**3.0**
1.1 騒音						3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音						**3.0**	0.50	**3.0**	0.50	
1 開口部遮音性能						3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能（軽量衝撃源）						3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能（重量衝撃源）						3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						**3.0**	-	**3.0**	-	
2 温熱環境						**1.0**	0.35	**3.3**	1.00	**2.7**
2.1 室温制御						**1.0**	0.71	**3.7**	0.50	
1 室温						-	-	3.0	0.63	
2 外皮性能	A				住宅性能評価等級4としている。	1.0	1.00	5.0	0.38	
3 ゾーン別制御性						-	-	-	-	
2.2 湿度制御						**1.0**	0.29	**3.0**	0.20	
2.3 空調方式						**-**	-	**3.0**	0.30	
3 光・視環境						**2.4**	0.25	**3.1**	1.00	**2.9**
3.1 昼光利用						**3.8**	0.30	**3.4**	0.30	
1 昼光率						3.0	0.60	3.0	0.50	
2 方位別開口						-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備	A				開口部を大きくし昼光率を高くしている。	5.0	0.40	5.0	0.20	
3.2 グレア対策						**3.0**	0.30	**3.0**	0.30	
1 昼光制御	A					3.0	1.00	**3.0**	1.00	
2 映り込み対策						-				
3.3 照度						**1.0**	0.15	**3.0**	0.15	
3.4 照明制御						**1.0**	0.25	**3.0**	0.25	
4 空気質環境						**3.4**	0.25	**4.7**	1.00	**4.4**
4.1 発生源対策						**3.0**	0.60	**5.0**	0.63	
1 化学汚染物質					床・壁・天井にすべて☆☆☆☆を使用している。	3.0	1.00	5.0	1.00	
2 アスベスト対策						-	-	-	-	
4.2 換気						**4.0**	0.40	**4.3**	0.38	
1 換気量					開閉可能窓を大きく確保している。	5.0	0.50	5.0	0.33	
2 自然換気性能						3.0	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						-	-	-	-	
1 CO_2の監視						3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御						-	-	-	-	
Q2 サービス性能						**–**	**0.30**	**-**	-	**2.6**
1 機能性						**3.0**	0.40	**2.2**	1.00	**2.4**
1.1 機能性・使いやすさ						**5.0**	0.40	**3.0**	0.60	
1 広さ・収納性						3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応						3.0	-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画					福祉のまちづくり条例の基準にそって計画している。	5.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						**1.0**	0.30	**1.0**	0.40	
1 広さ感・景観						5.0	-	1.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						3.0	-	-	-	
3 内装計画						1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理						**2.5**	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						2.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務						-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性						**2.8**	0.30	-	-	**2.8**
2.1 耐震・免震						**3.0**	0.50	-	-	
1 耐震性						3.0	1.00	-	-	
2 免震・制振性能						-	-	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						**3.4**	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数					住宅性能劣化対策等級3を満たしている。	5.0	0.22	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		B				3.0	0.22	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		B				3.0	0.11	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		B				-	-	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		B				3.0	0.22	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		B				3.0	0.22	-	-	
2.4 信頼性						**1.4**	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						1.0	0.20	-	-	
3 電気設備						1.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						1.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性						**3.2**	0.30	**2.8**	1.00	**2.9**
3.1 空間のゆとり						-	-	**2.6**	0.50	
1 階高のゆとり						3.0	-	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ						3.0	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり						**3.0**	-	**3.0**	0.50	
3.3 設備の更新性						**3.2**	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性						3.0	0.29	-	-	
2 給排水管の更新性					構造部材を痛めることなく修繕、更新が出来る。	4.0	0.29	-	-	
3 電気配線の更新性						3.0	0.14	-	-	
4 通信配線の更新性						-	-	-	-	
5 設備機器の更新性						3.0	0.29	-	-	
6 バックアップスペースの確保						-	-	-	-	

CASBEE_Sapporo2014v1.2

公営住宅(東雁来団地3号棟)

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル:　CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト:　CASBEE札幌2014（ver.1.3）

スコアシート　実施設計段階　　**重点評価項目**　■A:省エネルギー　■B:省資源　■C:緑化　■D:雪処理

配慮項目	重点評価項目 A	B	C	D	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分 評価点	建物全体・共用部分 重み係数	住居・宿泊部分 評価点	住居・宿泊部分 重み係数	全体
Q3 室外環境(敷地内)						–	0.30	-	-	3.7
1 生物環境の保全と創出			C			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			C		敷地外周に緑地を設け、建物の圧迫感を軽減した。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮						4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D	視線の行き届かない死角を作らないよう空地、緑地を設けた。	5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						–	-	-	-	2.8
LR1 エネルギー						–	0.40	-	-	2.9
1 建物外皮の熱負荷抑制	A					3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用	A					2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化					BEI　非住宅 ー　住宅(専有部) 0.88	3.0	0.50	-	-	3.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)	A					-	-	-	-	
集合住宅の評価(3c)	A					3.0	1.00	-	-	
4 効率的運用						3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価						-	-	-	-	
4.1 モニタリング	A					3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制	A					3.0	-	-	-	
集合住宅の評価						3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	A					3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	A					3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル						–	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護						3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水						3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減						3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減		B				2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B			ー	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B			再生クラッシャラン	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B				3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		B			躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避						2.3	0.20	-	-	2.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避						2.0	0.70	-	-	
1 消火剤		B				2.0	0.33	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		B				2.0	0.33	-	-	
3 冷媒		B				2.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境						–	0.30	-	-	2.7
1 地球温暖化への配慮		B			燃焼機器を使用しておらず、大気汚染物質が発生しない。	3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮						2.0	0.33	-	-	2.0
2.1 大気汚染防止		B				1.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		B	C	D		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		B				3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制						3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		B		D	ごみ置場は囲い等を設け、カラス対策、飛散防止対策を行っている。	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮						2.4	0.33	-	-	2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	
1 騒音						3.0	0.33	-	-	
2 振動						3.0	0.33	-	-	
3 悪臭						3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制						1.6	0.40	-	-	
1 風害の抑制						1.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制						3.0	-	-		
3 日照阻害の抑制						3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制						3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						3.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30	-	-	